

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

学部学生の聴講も歓迎

記

1. 講師 神奈川歯科大学 歯学部 特任教授

木本 一成 特任教授

2. 演題

アスリートならびにサポートスタッフとしての役割と責務

- WADA CODE 2021 での教育に関する国際基準 (ISE) を受けて -

3. 日時 令和6年7月31日(水) 17時

4. 会場 1号館西 6階 歯学科 演習室1~4

本年はオリ・パライヤーで、講義当日はパリ2024オリンピック大会第6日目に当たる。前回東京大会におけるドーピング検査（競技会検査＋競技会外検査）はオリンピック6,349検体、パラリンピック2,174検体が採取された。パリ大会ではこの検体数を超える実績が見込まれる。

国内での国民スポーツ大会でもドーピング検査が実施され、2026年1月開催予定の第80回冬季大会より、「アスリートをはじめ、監督・コーチ、スポーツドクター・スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、保護者等はその本戦参加前1年以内にアンチ・ドーピング教育受講を義務付け、教育履歴記載を確認した上で大会参加を申込む」ことをサポートスタッフは認識しなければならない。

歯科医療従事者は最新のアンチ・ドーピング規則等を遵守し、アンチ・ドーピング活動の推進に寄与することが求められる。

連絡先 咬合機能健康科学分野 中禮 宏
(chu.spmd@tmd.ac.jp)